

第**58**号
2012年

InfoCom REVIEW

【論文】

BtoBサービスビジネスにおけるマーケティングコミュニケーション方法論の提案
—情報通信サービスの購買プロセスの事例分析—

山口 平八郎／進藤 美希

周波数再編成(利用変更・移転)のエコノミクスⅡ(前編)
—新システム(EMM)による再編成加速の提案—

鬼木 甫

【研究レポート】

ICT産業のエコシステムの解釈を巡る差異の分析
—日韓のモバイル産業を例に—

神野 新

オープンデータの取り組みで先行する各国の現状

仁木 孝典

テレワークによるワークライフバランスへの影響に関する考察

國井 昭男

InfoCom REVIEW

第58号

目次 CONTENTS

論文

- | | | |
|--|--|----|
| ● BtoB サービスビジネスにおける
マーケティングコミュニケーション方法論の提案
—情報通信サービスの購買プロセスの事例分析—
Marketing Communication Method for BtoB Service Business
; A Proposal of Customer's Purchase Process Model for
Information and Communication Industry | 山口 平八郎
Heihachiro Yamaguchi
進藤 美希
Miki Shindo | 2 |
| ● 周波数再編成(利用変更・移転)のエコノミクスII(前編)
—新システム(EMM)による再編成加速の提案—
Economics of Spectrum Reallocation II
— proposal of a new system (EMM) for accelerating efficient
reallocation | 鬼木 甫
Hajime Oniki | 20 |

研究レポート

- | | | |
|--|------------------------|----|
| ● ICT 産業のエコシステムの解釈を巡る差異の分析
—日韓のモバイル産業を例に— | 神野 新
Arata Kamino | 45 |
| ● オープンデータの取り組みで先行する各国の現状 | 仁木 孝典
Takanori Niki | 59 |
| ● テレワークによるワークライフバランスへの影響に関する考察 | 國井 昭男
Akio Kunii | 73 |

出版物などのご案内

周波数再編成(利用変更・移転)のエコノミクスⅡ(前編)

—新システム(EMM)による再編成加速の提案—

Economics of Spectrum Reallocation II — proposal of a new system (EMM) for accelerating efficient reallocation

鬼木 甫^{*}

Hajime Oniki

初校受付 2012年8月9日

査読を経て掲載決定 2012年9月4日

SUMMARY

近年における技術進歩によって電波利用が急増し、電波需給の逼迫から周波数帯の再編成の加速、すなわち「余裕のある電波利用の縮小・終了と、必要度の高い利用目的への転用」が望まれている。しかしながら現に利用中の周波数帯については、再編成実施の可否に加え、実施タイミング、補償金額についても既存利用者が影響力を持ち、再編成が遅れることが多い。本論文はこの問題の解決に資するため、周波数帯の供給価格すなわち再編成時の補償金額については一定の代償を負担しつつ既存利用者自身が事前に決定し、その他の事項については価格メカニズムの機能に沿いながらすべて規制当局が決定することを主眼とする新しい電波再編成システム(EMM: extended market mechanism)を提案してこれを検討する。

キーワード：周波数帯の再編成、再編成加速、電波利用の効率化、利用目的の変更、移転、電波ブロック、電波ブロックの供給価格、埋没費用、ローカル独占、独占利益、電波収用保険、電波利用料、固定資産税、移転補償、余剰、再編成余剰、再編成配当、余剰の分配、電波資源への収益(レント)、先物供給価格、先物オークション、電波ブロックの分割・統合、EMM、extended market mechanism

1 まえがき⁽¹⁾

最近におけるスマートフォンの急速な普及により、移動通信目的の電波が近い将来において逼迫すると予想されている。他方スマートフォン等によるワイヤレス・ブロードバンド(WBS: 広帯域無線通信)は、「汎用基本技術(GPS: general purpose technology)」の地位を獲得して高度情報

化社会の基盤になると考えられている⁽²⁾。WBSの順調な普及のために電波逼迫を防止することが望ましく、またスマートフォン普及後においても電波利用の増大と電波資源の希少化は続くと言想される。

「周波数帯の再編成」は、電波逼迫の主要対策の一つである。重要度が低い目的に利用されている周波数帯の利用者に利用停止あるいは他周波数